

あおぞらつぐみ通信

発行日：令和7年4月28日

○第105号○

社会福祉法人あおぞらつぐみ福祉会
○あおぞらつぐみの家
東大阪市加納5-12-25
☎072-872-9211
○ほたる
東大阪市日下町7-3-57
☎072-981-5200
発行責任者 橋之爪 栄



右…ほたるでの軽作業風景
左…あおぞらつぐみの家の缶リサイクル作業

◆ も く じ ◆

- ・ 令和8年度事業計画 2P
- ・ 令和7年度を振り返って 3～4P
- ・ 私のキラリ☆ほっと 5P
- ・ 新利用者・職員紹介 6P
- ・ 後援会だより19号 7P

全ての利用者が主人公として輝ける実践の追求を

今年も人と人とのつながりを大事にし、集団の中で、職員、利用者双方が人として成長していける実践をめざします。

日中支援の場では利用者さんの声や思いをていねいに汲みとり、日課、週課、作業活動、レクリエーション活動等の中で、利用者さんが主体的に、楽しく参加できるように形を追求します。

法人を守り発展させる、次世代職員の育成を

内部研修、外部研修を積極的かつ計画的に行い、利用者支援に係るすべての職員のスキルアップを応援し

ます。特に今年度は職位、職務内容に応じた任用要件、昇格要件を達成するための研修計画（キャリアパス規程）にそって、個々の職員がキャリアアップを目指してもらいます。仕事の振り返りシートを活用し、年に1

回以上

は個別面談にて客観的評価の場を設け、

次の目

標を設定していきます。

あわせて職種、立場を超えてすべての職員が福祉を担う者として人権擁護の意識をしっかり身に付けてもらえるように学習の機会を保障します。

令和8年度

事業計画

—充実と安心の年度に—



安心しつよびける環境整備を

中長期計画にそって、大規模改修等の環境整備を進めていきます。

老朽化した「あおぞらつぐみの家」の改修工事を優

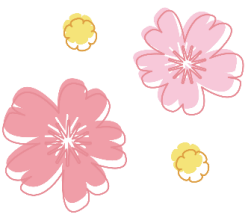
先的に行います。全館LED工事、屋上の防水工事など。また、あおぞらつぐみの家、ほたるの両事業所の車両の整備も行います。

暮らしの場にも安心と充実を

ショートステイが利用しやすいものになるよう、優れた職員の確保に力を入れます。また、より多くの人利用できるようにグループホームの空床利用型ショートステイも進めます。

また、グループホームのキーパーの確保、入所者の確保に努めます。

(橋之爪)



令和7年度を振り返る～おおぞらつぐみの家～

昨年度は、4月から支援
学校高等部を卒業した2名
の新入所者を迎えることが
出来ました。ある程度、落ち
着いた大人の雰囲気になっ
て来ていたあおぞらつぐみ

の家の班集団にパワフルで、
自由に行動する若い仲間が
加わり、ポジティブな波紋
が班集団を変えていきまし
た。Yさんは人が大好きで
「人と関わりたい」という
願いをかなえようと一生懸
命な方です。時には建物内
を走り回ってしまうことも
ありますが、その行動を受
け入れ、優しく声を掛けて
くれる班の仲間たちがいて、
現在では昼食前のエプロン
を手渡したり、作業準備で
は部材を運んだり、「人に
関わりたい」という願いを
他者に喜ばれる役割で叶え
ることが出来るようになり
ました。そして、いつも明る

い笑顔で声を上げているY
さんに応えるように、仲間
たちも声を出し、手を動か
し、1階班が一気に賑やか
になりました。

Kさんは、体を動かすこ
とが大好き、外が大好き、そ
して、ドライブが大好きな
方です。

そんなKさんにぴったり
な仕事は、もちろん廃品回
収。始めはどう動いてよい
のか分からなかったKさん
ですが、先輩のYさんの動
きを真似て、後ろをついて
いくことで運び作業のやり
方を学びました。今では、動
き出すと最後までやり切る
Kさんに助けられ、Yさん
はちよっぴり楽をさせて貰
っています。

ご家族から、お二人とも
通所するのを毎日楽しみに
しているとお聞きしていま
す。これまで大切にしてい

た「集団の中で輝き、かけが
えのない自分を実感する」
という実践が正しかったの
だと、変わりゆく仲間たち
の姿を見て背中を押しても
らったような気持ちになり
ました。



今年度は、2施設合同で
行う土曜開所の取り組みを
広げることが出来ました。

地域の方々にも協力を頂き、
人形劇、河内音頭、音楽団と
3つのボランティアアグルー
プに来て頂くことが出来ま
した。利用者の皆さんも普
段とは異なる「ハレ」の活
動に、普段は動き回ったり、
集団に入れなかったりする

方が着席して舞台に引き付
けられる姿が印象的でした。
また、2施設合同で生駒山
麓公園にて飯盒炊きさんも楽
しみました。メニューはカ
レーライス。きれいな空気
の中、野菜の皮を剥き、刻み
米を研ぎ、おいしく出来上
がりました。「おかわりー」
の声は止まらず22合炊い
た白米は残らず食べきり、
職員の分が足らない…!!
来年度は、2施設の仲間が
深く交流できるよう、混合
でチーム分けをして、ゲー
ムやクッキングを楽しみた
いと思っています。

大きく体制が変わって、
4年目を迎えます。実践の
軸がさらに太く、揺ぎなく
なるように職員一同、力を
合わせて頑張っていけます。
今年度もどうぞよろしく
お願いいたします。(山田)

令和7年度を振り返る〜ほたる〜

ほたるでは、以下のような形で、日課を行ってきました。

今まで職員主体で行っていた朝の会と終わりの会の進行を利用者さん主体に変え、難しい部分を職員が、お手伝いする形で行っております。朝の会では、司会進行と出席と日課の確認を担ってもらい、終わりの会では、1日を振り返る時間と翌日の昼食の確認も行っています。最初は戸惑われる方もいましたが、回数を重ねる度に徐々に慣れてこられています。



作業では、集団性を高めていけるように、個人またはペアで、一工程を取り組み、次の工程へと流れ作業を行い、ゴールにむけて、皆で1つの製品に取り組んでおります。週に3回行う中で、仕上がった商品を利用者さんが次の工程に運んだ際に「○○さんありがとう！」と他の利用者さんや

職員から感謝される場面も生まれています。また、利用者さんの給料は今まで職員が給料袋に封入していましたが、最近ではその月に行った作業内容や収支等を説明した後に、利用者さんが自分の1ヶ月分の給料を実際にお金に触れて、給料袋に封入する取り組みも始まりました。

今後は、室内レクリエーションでは、風船バレーやダンス等で、定期的に集団で体を動かす取り組みや外出レクリエーションでも、公共交通機関を利用しての外出も試みる予定です。

今年度もほたる一同団結力を深め、明るい事業所を目指し、精進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。(浦本)



私のキラリ☆ほっと

☆日々上達☆

Iさんが、軽作業の資材入り袋の三つ折りホッチキス止めを何年も取り組んで来られました。この間、すごく上達したのでびっくりしています。(大久保)



☆落ち着いたよ☆

ざわついた音が苦手なOさんが、その日はショートの明けで調子が悪く食堂から離れた部屋に避難してもらっていた時のことです。いつもなら、食堂が完全に静

かになるまで食事を摂れないのですが、その日初めて職員と会話するうちに自分から気持ちを立て直して「僕もご飯食べるわ」とぎわざわしている食堂に向かっています。Oさんの成長を感じた瞬間でした!

(山田)

☆お見通し☆

私は電話の取り次ぎ等で職員さんを探し回ることがあるのですが、そんな時に助けてくれるのは利用者のSさんです。

「Hさんドコですか〜!」と声を張り上げながら2階の作業室に入ると、「ショート」(エレベーターで)1階降りた」と教えてくれます。実際にその場所に行くところ……いました〜!

Sさんの的確な観察眼、これからも頼りにしていますよ!

(菱田)



☆外出は楽しい☆

つい先日、私が銀行に出発する際、外出の気配を察したHさんが自分から靴を履き替え車に乗り込まれようとして、「外出がしたい」と行動で意思表示される場面がありました。入所して間もない頃は外出すること頑なに嫌がっていたのですが、通所生活を過ごす中での変化と主体性の芽生えを垣間見た瞬間でした。

(椎葉)

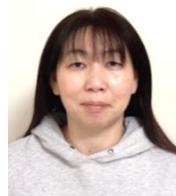
施設改修計画が進んでいます

7年度はボイラーの給湯器付け替え工事、2階門扉の取り換え、2階雨漏りの修繕などを進めてきました。今後は屋上の防水工事、LED更新工事などに順次取り組んでいきます。安全安心、快適な環境整備を進めます。



新職員紹介

みなみ さちえ
南 幸恵 管理者
(あおぞらホーム)



この度、4月1日よりあおぞらホームにて管理者として着任しました南幸恵と申します。
これまで高齢者分野において相談員業務に従事してまいりましたが、障がい福祉分野では未経験でございますが、利用者様が安心して生活できる環境づくり、アットホームな家であるよう、利用者様一人ひとりに寄り添い共に考え、職員一同と連携し、より良い支援の提供に尽力してまいります。まだまだ至らない点もありますが、どうぞよろしくお願致します。

はたの きよし
秦野 清史 支援員
(あおぞらつぐみの家)



2回のトライアルを経て今年1月から「あおぞらつぐみの家」に入職した秦野と申します。前職の外資系貿易会社から縁があつてお世話になっております。
利用者の皆さんと接する日々、覚える事、理解する事、感じる事も増え、少しずつ働き甲斐を感じています。とは言え、この業界では全くの素人、少しでも早く先輩方の力になれるように頑張つて行きたいと思つていますので宜しくお願致します。

きむら みちか
木村 美愛 キーパー
(あおぞらホーム)



初めまして。3月からあおぞらホームに配属になりました。木村美愛と申します。現在、他社で訪問介護もしており、利用者様と向き合ふという点では凄く自信があります。それでも、他にも出来ない事も多いので、戦力になれるよう頑張りたいと思つております。またホームが安心してできる場所になる様にしたいと思つております。以後、よろしくお願致します。

いしい ゆかり キーパー
(あおぞらホーム)



ご縁があつて、あおぞらホームで働くことになりました。利用者さんが自分の家のように楽しく暮らしていけるお手伝いができたらと思ひます。

いしい ひかり キーパー
(あおぞらホーム)



ご縁があり、こちらのホームで働かせて頂くことになりました。利用者さんが安心して楽しく過ごせるようにお手伝いが出来ればと思ひます。

総会6月13日に決定

第一部 午前10時〜 令和7年度総会

第二部 午前11時〜 交流会

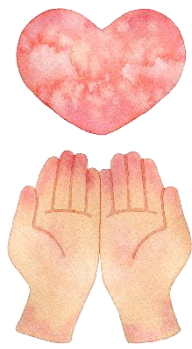
20年前、国の障害福祉施策の幅も量も、今よりもはるかに少なかった時代に、学校卒業後の子どもたちの居場所を作るために、力を尽くしてこられたお母さん方がられます。あおぞらつづぐみの家には向けて無認可時代に手弁当で、一丸となり、施設見学や署名などを取り組み、法人化を成し遂げられました。それまで地域の皆さんの

お力も借りながら、お母さんお父さんの頑張りが今のあおぞらつづぐみの家、ほたる、シヨートステイ、そしてあおぞらホームへとつながっています。今回の後援会2部ではこうした施設作りをけん引して来られたお母さん方にもお越しいただき、色々な昔語りを頂けたらと思います。どうぞ、ふるってご参加ください。(後援会会長)



令和8年2月以降に更新を
頂いた方のご芳名です
ありがとうございました

太田 泰三
佐藤 裕一
島田 君子
(敬称略/50音順)



絶対に必要なものは多くはない。
恐らく、変わらずに輝き続けるのは、
命への愛惜と
自然に対する謙虚さである。
その思いを留める限り、
恐れるものは何もないと考えている。

中村
哲

中村さんは昭和21年福岡県生まれ。精神科医。
昭和59年パキスタン北部ペシャワールの病院に赴任、医療支援に取り組む。
アフガニスタンを大干ばつが襲って以降は水資源の確保にも取り組み1600
本以上の井戸を掘削。さらに25キロ以上にもおよぶ用水路も建設し砂漠化し
た大地に緑を蘇らせた。令和元年、何者かに銃撃され死亡。

支援スタッフ (パート・アルバイト) 募集

生活支援員
短期入所・グループホーム
キーパー

お問い合わせはコチラ↓

TEL: 072-872-9211

◎編集後記◎

先日、H職員さんに「推し活って何？」と聞かれた。簡単な話である。姿を見たり声を聴いたり思い出した。りするだけで心躍る存在を見つけた。ば良い。芸能人や漫画キャラ、動物や身近な人、何でもアリだ。恋愛との違いはその人の心に自分が存在してほしいか否か、だろうか。その人に恋人が出来ても、作中で悲惨な目に遭おうと、我々に出来るのは幸せを願う事だけだ。あまりにも心とお金をつぎ込みすぎて、「お死活」にならぬようご用心。

編集担当 菱田